

— 広告 —



林航希 (はやし こうき)
金沢工業大学大学院工学研究科
情報工学専攻
博士前期課程一年
愛知県立春日高等学校出身

図書館で手にした一冊が 人に役立つAI探求の起点。

KIT
キャンパス
レポート
文・杉村裕之

「本には人の生き方を変える力がある」を、今回、しみじみとかみしめた。林さんは、前々から気になっていたAIの基礎を知りたいと、三年前の春休み、KITのライブラリーセンターを訪ねた。ふと手に取った入門書『ゼロから作るDeep Learning』に、「これなら案外自分でもできそう」と目が吸い込まれた。それから連日、ライブラ

をもっと便利にするAIの探求に、ぜひ仕事でも関わっていきたい。四年次から指導を受ける長田茂美教授との出会いにも恵まれた。先生は、担い手不足が深刻化する林業のDX化に取り組んでいた。従来、人が森林に分け入って樹種や本数、木材の体積を調査、計算していたものを、ドローンとAIエンジンを活用して森林情報を「見える化」し、劇的な効率化をめざす国家プロジェクトである。「これだ」と直感し、迷わずプロジェクトに参加させていただきました。撮影した画像データを、どう深層学習で処理すればAIの精度を上げられるか。もちろん苦労はありましたが、二〇二四年度を目標としたWebアプリの実用化にもめどが立ち、ほっとしています。

国内シェア一位、世界四位という高い独創技術で知られる。「装置の性能や現場での生産性を高めるために、AIの活躍する場面がきつとたくさんあるはず」。

半導体チップは、いまや産業から生活、ロケットからゲームまで、あらゆる分野の機械や機器、部品に搭載され、超小型化と超高性能化が加速する。林さんの手がけた半導体製造装置が、その最前線に踊り出る日もそう遠くないだろうと心弾んだのは、決して気のせいではない。

同時に、「それにしても」と改めて本の持つ力に思いをはせた。KITが誇るライブラリーセンターへ行き、第二、第三の林さんを探してみたくなった。

金沢工業大学
石川県野々市市扇が丘七二
電話番号(〇七六)二四八一二〇〇